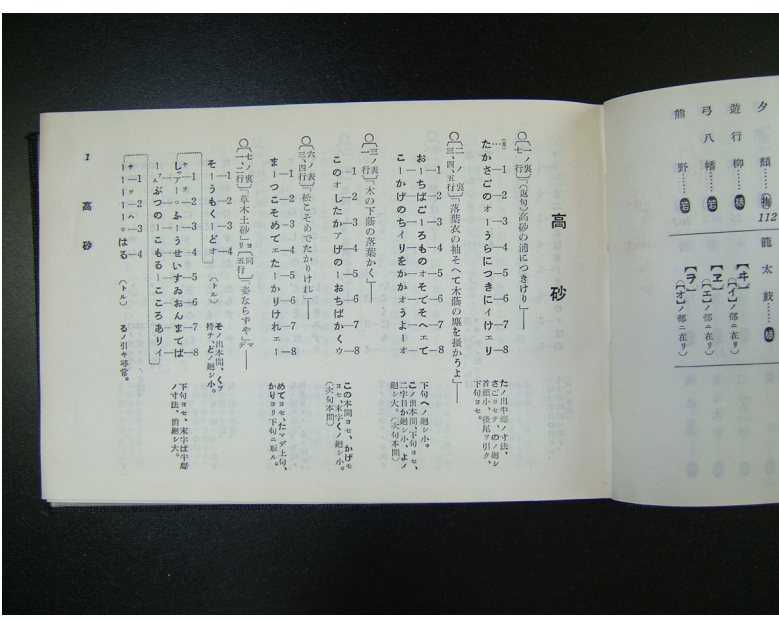


山崎樂堂 『梅若全曲 地拍子要解 梅の巻』

小序（山崎有著）によると、本書は、雑誌『梅若』に連載された、山崎樂堂の連載をまとめたものである。六十五曲の拍子合箇所すべてではなく、例外で、難解の当りの箇所のみを示す。写真下は、冒頭の高砂。当りを割り付けて示すだけでなく、句の下に、一つずつ説明が行われるのは、『地拍子教本』（65頁）と同じスタイルである。著者の一貫した主張が感じられる。巻頭の索引によると、梅の巻の他に、若の巻、橘の巻の二巻がある。



標題 内題：—

標題紙：梅若全曲 地拍子要解 梅の巻  
 奥附：梅若全曲 地拍子要解 梅の巻  
 その他：梅若全曲 地拍子要解 梅の巻  
 （目次・表紙）、梅若全曲 地拍子要解 梅（背）

著者 奥附：山崎樂堂

その他の場所：山崎樂堂（標題紙）

出版 版次：再版

出版地：東京

出版社：梅若譜本刊行会 能楽書林

出版年：昭和33（1958）

その他の場所：序 昭和33（1958）

形態 冊数：一冊 頁数：一九七頁

寸法：13×19（cm）

状態 写本版本の別：版本 現物複写の別：現物

備考 初版は昭和二三（一九三八）年。